

コウノトリ



毎週月曜日更新

# カタカタ通信



第55号

## 「赤ちゃんを運ぶ鳥」

2023年1月2日

あけましておめでとうございます！お正月といえば、門松や鏡餅などの正月飾りをしたり、おせちを食べたり、初詣に行ったりとめでたいイベント盛りだくさんです。

めでたいというと、コウノトリも負けてはおらず、「赤ちゃんを運ぶ鳥」や「幸福をもたらす鳥」というイメージが浮かぶのではないのでしょうか？実はこの「赤ちゃんを運ぶ鳥」というお話の発祥は、日本ではなくヨーロッパにあります。ヨーロッパには、シュバシコウというコウノトリが生息しています。このコウノトリを国鳥にしているドイツの中部と北部では、近くの泉や池や沼からコウノトリが赤ちゃんを運んでくるという伝説が一般的であり、コウノトリは女神ホルヘの使者として、命の精を沼から民家に運ぶといわれます（※）。このイメージがいつからか日本に持ち込まれ、コウノトリは「赤ちゃんを運ぶ鳥」として広まっていったようです。



シュバシコウ コウノトリ科

今年は、空と花にも赤ちゃんを運んできてもらえるよう期待したいと思います。

※参考文献 「蘇るコウノトリ」 菊池直樹



空と花

天空の里

鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：佐藤